

# 研究発表会開催通知

(昭和 61 年 12 月 15 日～昭和 62 年 1 月 31 日)

研 究 会	日 時		会 場	備 考
設 計 自 動 化	12月16日(火)	13:30~17:00	機械振興会館	前号参照
記 号 処 理	1月13日(火)	13:00~17:00	青 学 大	下記参照
コ ン ピ ュ ー タ ビ ジ ョ ン	1月16日(金)	9:10~17:00	京 大	同 上
知 識 工 学 と 人 工 知 能	1月16日(金) 1月17日(土)	13:40~17:00 9:30~15:30	同 上	同 上
デ ー タ ベ ー ス ・ シ ス テ ム	1月19日(月)	9:00~18:00	北 大	同 上
日 本 語 文 書 処 理	1月21日(水)	13:30~17:00	機械振興会館	同 上
自 然 言 語 処 理	1月23日(金)	10:30~17:30	阪大・産研	同 上
計 算 機 ア ー キ テ ク チ ャ	1月27日(火)	13:30~17:00	機械振興会館	同 上

## ◆ 第 42 回 記号処理研究会

(発表件数: 6 件)

(主査: 和田英一, 幹事: 井田昌之, 小川貴英, 元吉文男)

日 時 昭和 62 年 1 月 13 日 (火) 午後 1 時～5 時

会 場 青山学院大学理工学部 1 号館 2 階会議室

[東京都世田谷区千歳台 6-16-1, 小田急線: 成城学園下車, 京王線: 千歳鳥山下車, 両駅よりバスで千歳船橋駅行で青山大理工学部下車. Tel. 03 (307) 2888 ex. 268]

議 題 (1) COOL: オブジェクト指向⊕制約伝播機構

中島 震 (日電 C&C 研)

[概要] COOL は関係記述の評価機構として TMS に基づく制約伝播機構を内蔵するオブジェクト指向言語である。

(2) Common Loops の Uti Lisp 上の実現

松木美保子, 泉 寛幸, 吉田裕之, 加藤英樹 (富士通研)

[概要] Common Loops の基本部分を Uti Lisp 上に実現したので, そのデータ構造とメソッド適用方式等について報告する。

(3) EVLIS マシンの Parallel-Lisp コンパイラとその実現

安田弘幸, 坂口寿和, 三野雅仁, 山田真一

斎藤年史, 安井 裕 (阪大・工)

[概要] 並列処理効率向上のための制御法とその Lisp 上での表現を示し, コンパイラへの適用結果等について述べる。

(4) ELIS における LISP コンパイラ

神尾視教, 酒井高志, 竹内郁雄 (NTT 通研)

[概要] ELIS 上の LISP コンパイラの実現方式とその評価について述べる。

(5) HiLISP インタプリタの高速制御方式

湯浦克彦, 安村通晃 (日立 中研)

〔概要〕 変数，ブロック名および飛び先の環境の管理をスタック上での操作を基本とする方式で可能とし，高速の Common Lisp インタプリタを実現した。

(6) Common Lisp における日本語処理方式の提案

元吉文男 (電総研)

〔概要〕 Common Lisp において日本語文字もアスキー文字同様に一文字として扱い文字列・シンボル中でも使用できる方法を提案する。

## ◆ 第 46 回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数：9 件)

(主査：白井良明，幹事：松山隆司，吉田真澄)

日 時 昭和 62 年 1 月 16 日 (金) 午前 9 時 10 分～午後 5 時

会 場 京都大学 化学研究所 大会議室

[宇治市五ヶ庄，国鉄：京都下車，奈良線または京阪電鉄：黄檗(おおぼく)下車，徒歩 8 分。Tel. 0774 (32) 3111 ex. 3312]

議 題 9:10～12:00 (4 件)

(1) 知識やモデルを利用した顔画像解析

馬場口登，山内 智，相原恒博 (愛媛大・工)

(2) 立体視による建築物の多面体構造の抽出

丸山 稔，阿部 茂 (三菱電機)

(3) 透視角度変換による 3 次元情報抽出

尺長 健，金子 博 (NTT 通研)

(4) 動的計画法による 3 眼ステレオ画像の対応探索

山本健彦，大田友一，池田克夫 (筑波大・電子情報)

13:00～17:00 (5 件)

(5) クリークを用いた重なりのある多面体の認識

金沢 靖 (豊橋技科大)，北橋忠宏 (阪大・産研)

〔概要〕 輻輳した多面体群の画像より求めた association graph におけるクリークを用い，多面体を個別に認識する試み。

(6) 維体相貫法を用いた 2 次元画像からのオクトツリーの作成

登尾啓史，福田尚三，有本 卓 (阪大・基礎工)

〔概要〕 物体の複数の輪郭情報に維体相貫法を用い，物体のモデル (オクトツリー) を作成する高速な方法を提案する。

(7) 画像の B-reps のためのアルゴリズム

富田文明 (電総研)，高橋裕信 (三洋電機)

〔概要〕 画像の中間レベルの記述として B-reps を得るための一連のアルゴリズムについて述べる。

(8) ステレオ画像の B-reps 対応による 3 次元シーンの記述

富田文明 (電総研)，高橋裕信 (三洋電機)

〔概要〕 ステレオ画像の B-reps に基づく対応の方法と対応の結果得られる 3 次元シーンの B-reps について述べる。

(9) 手書き図面清書システム FACORES

美濃導彦，松井浩二，坂井利之 (京大・工)，吉田裕一 (キャディックス)

〔概要〕 手書きの論理型図面を認識・理解し、清書図面を生成するシステム FACORES を開発したので、そのハードウェア・ソフトウェアについて報告する。

(10) 見学：京都大学 オートメーション研究施設

※ 今回の研究会は電子通信学会（パターン認識・理解研究会）との共催で開催されます。上記会告は 11 月 25 日現在の申込みによるもので、プログラムは暫定的なものです。上記期日以降の申込み分を含めた最終的なプログラムは電子通信学会誌 12 月号に掲載されますので、ご了承ください。なお、電子通信学会パターン認識・理解研究会は 17 日（土）も開催されます。

## ◆ 第 50 回 知識工学と人工知能研究会

（発表件数：10 件）

（主査：堂下修司，幹事：西田豊明，米澤明憲）

日 時 昭和 62 年 1 月 16 日（金）午後 1 時 40 分～5 時

1 月 17 日（土）午前 9 時半～午後 3 時半

会 場 京都大学工学部 情報工学教室

〔京都市左京区吉田本町，国鉄：京都下車，市バス：17 番（錦林車庫）百万遍下車，地下鉄：北大路行にて今出川下車，市バス：烏丸今出川バス停より 203・201 番にて百万遍下車。Tel. 075 (751) 2111 ex. 5370〕

議 題 1 月 16 日（金）（4 件）

(1) 認知地図の計算機モデル

中西 博，中村 孝，豊田順一（阪大・産研）

〔概要〕 認知地図 (Cognitive-Map) の概念モデルの構築とその計算機上での実現について述べる。

(2) 環境型教育システムにおける継続的対話管理

中村祐一，平島 宗，豊田順一（阪大・産研）

〔概要〕 物理学を対象として，環境型教育に適したモデル化技法を提案し，それを利用した対話管理について述べる。

(3) 連続ポテンシャル場を用いた位置関係の推定

山田 篤，西田豊明，堂下修司（京大・工）

〔概要〕 連続ポテンシャル場の概念を用い，位置関係と方向に焦点をあてた空間記述の確からしい解釈の方法を提案する。

(4) 定性的推論における変数の不連続変化の取り扱い

西田豊明，堂下修司（京大・工）

〔概要〕 不連続な変化に関するモデル化と挙動推定の方法について，パルス回路における現象を対象として述べる。

1 月 17 日（土）9：30～12：00（3 件）

(5) フレーム問題に関する考察

松原 仁（電総研）

〔概要〕 フレーム問題に対し，真の解決は存在しない，解決を目指すこと自体に意味がない，という立場から考察を行う。

(6) フレーム論理

中野良平，木山 稔（NTT 通研）

〔概要〕 フレームモデルと関係モデルの統合の試みとして考案したフレーム論理 (frame calculus) の基本概念，記述例などを述べる。

- (7) 知識の構造化に関する考察 荒屋真二 (福岡工大・通信工学)  
〔概要〕 プロダクションシステムにおける知識の構造化にまつわる諸問題を明らかにし、その対応策を比較考察する。

**13:00~15:30 (3件)**

- (8) オブジェクト表現開発のためのクラス構成支援について 片山佳則 (富士通 国際研)  
〔概要〕 オブジェクト表現の開発において、メッセージ通信/スロット利用関係によりクラス構成を支援する方法を述べる。
- (9) On the Semantics of Joins of Knowledge Bases 外山勝彦, 稲垣康善 (名大・工)  
〔概要〕 知識を論理式で表現したときの知識ベースの結合の論理的モデルを与え、その性質について述べる。
- (10) Formalization of a Knowledge Base using Non-monotonic Reasoning 侯本 慧, 富樫 敦, 野口正一 (東北大・通研)  
〔概要〕 非単調論理に基づく知識ベースの形式化とオブジェクト指向言語による知識表現ならびにその運用方法について述べる。

◆ **第57回 データベース・システム研究会** (発表件数: 12件)

(主査: 上林弥彦, 幹事: 石井義興, 鈴木健司, 三浦孝夫)

日時 昭和62年1月19日 (月) 午前9時~午後6時  
会場 北海道大学工学部 232号室  
〔札幌市北区13条西8丁目, 国鉄: 札幌下車, 徒歩20分または, 地下鉄: 北12条下車徒歩10分. Tel. 011 (716) 2111 ex. 6470, 6472〕  
議題 **9:00~12:20 (5件)**

- (1) テキストを含む文献情報システムの汎用 DBMS による構築と検討 前田 隆 (北大・工)  
〔概要〕 非定型的情報としてテキストを含む文献情報システムの汎用 DBMS による構築上の利点・問題点等を検討する。
- (2) LISP BASE~S 式による知識表現を扱う DBMS 小林哲雄, 田中 譲 (北大・工)  
〔概要〕 異種の知識表現言語をS式という共通のデータ構造を単位として統一的に管理する DBMS を設計した。
- (3) 集約関数まで拡張した関係論理/関係代数変換法 中野良平, 斉藤和巳 (NTT 通研)  
〔概要〕 従来、難物とされていた集約関数を含む関係論理を極めて簡潔な関係代数表現に変換する新変換体系を提案する。
- (4) 知識ベースマシンにおける単一化専用装置の処理方式とその評価 森田幸伯, 小黒雅己, 伊藤英則 (ICOT)  
〔概要〕 知識ベースマシンにおける単一化専用装置に対してソフトウェアシミュレーションによる評価を行ったので報告する。
- (5) 関係演算処理のための専用ハードウェアの設計とその評価 武田英昭, 中村敏夫, 北村 正 (NTT 通研)

〔概要〕 関係データベース処理用ハードウェア（ソータ，フィルタ）の設計の要点を紹介し，その性能について考察する。

**13：00～15：40（4件）**

(6) ワークステーションデータベース管理システム—WSDBMS—

金森卓郎，赤堀のぞみ，渡辺 修，和田雄次，溝口徹夫（三菱電機）

〔概要〕 OA や EA の分野を対象とした，高機能ワークステーション上のデータベース管理システム。

(7) オフィスフォーム自動生成方式

渡部和雄，鶴岡邦敏（日電 C&C 研）

〔概要〕 オフィスで使用する帳票や管理表を，タイトルを基にデータベースから自動的に生成する方式を提案する。

(8) 追記型記憶媒体を用いた主記憶データベース

——文書ファイルシステムへの応用—— 小塚雅之（松下電器）

〔概要〕 追記型記憶媒体を用いた主記憶 DB の RAS 及び索引再生方式の考察と文書ファイルシステムへの応用例の報告。

(9) SODB: An Object Oriented Database in Smalltalk

Mojtaba Mozaffari, Yuzuru Tanaka（北大・工）

〔概要〕 ‘Object Oriented Data Model’ is a new data model based on object oriented programming concepts. Here we describe its implementation.

**16：00～18：00（3件）**

(10) 視覚情報を用いたオブジェクト指向による分散 DB 検索法

加藤哲朗，鈴木幸市，織田敬三，外川政夫（NTT 通研）

〔概要〕 マウス，アイコン，画像情報を駆使した複分散型リレーショナルデータベース検索の実現手法と効果について述べる。

(11) 機能分散型データベース・サーバ・システムについて

滝沢 誠，鈴木隆益，館 祐治，富田 誠（電機大・理工）

〔概要〕 LAN で結合されたワークステーションとファイルサーバに，DBMS 機能を分散させたシステムについて述べる。

(12) 知識情報に基づく駆動型メソッド・ベース

持田あけの，千葉正喜（北大・大型計算機センター）

前田 隆（北大・工）

〔概要〕 プログラム・モジュールとその知識に基づき，プログラムを動的に構成していく駆動型メソッド・ベースを提案する。

◆ 第10回 日本語文書処理研究会

（発表件数：3件）

（主査：山田尚勇，幹事：坂下善彦，首藤正道）

日時 昭和62年1月21日（水）午後1時半～5時

会場 機械振興会館 地下3階 1号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8，地下鉄：日比谷線神谷町，浅草線大門，三田線御成門下車，国電：浜松町下車。バス：渋谷—東京タワー線東京タワー，渋谷—東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車。Tel. 03 (434) 8211〕

議題 (1) 5指コードによる日本語入力

神阪博通（三重大・教育）

〔概要〕 5キー・キーボードの汎用性、このキーボードの日本語・中国語入力への利点を、若干のデータとともに報告する。

(2) オフィス文書作成支援システム—基本概念と機能—

平野文康, 日吉茂樹 (日電 C&C 研)

〔概要〕 オフィスの文書作成業務を支援するドキュメントベースの概念とアウトライン作成インタフェースについて報告する。

(3) 日本語 TeX 齊藤康己 (NTT 通研)

〔概要〕 ドットフォントをもとにして日本語の文書をも取扱える TeX を開発したので、インプリメント法等を紹介する。

## ◆ 第59回 自然言語処理研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 吉田 将, 幹事: 田中穂積, 野村浩郷, 日高 達)

日時 昭和62年1月23日 (金) 午前10時半~午後5時半

会場 大阪大学 産業科学研究所

[茨木市美穂ヶ丘 8-1, 阪急千里線: 北千里下車, 徒歩15分.]

Tel. 06 (877) 5111 ex. 3560]

議題 (1) 効率的な英文解析のための多品詞解消方式 小原和博 (NTT 通研)

〔概要〕 英日機械翻訳などの英文解析で重要となる多品詞性の解消方法を提案するとともに、その評価結果について述べる。

(2) 意味解析に基づく並列名詞句の構造解析

田村直良, 田中穂積 (東工大・工)

〔概要〕 助詞「の」により結ばれる名詞の修飾関係と並列される名詞の類似度を基にした並列名詞句の構造解析手法について述べる。

(3) 漢字と読みの組を造語単位とした単語の造語モデル

福永博信, 松延栄治, 日高 達, 吉田 将 (九大・工)

〔概要〕 造語モデルの紹介とそれを用いた複合語の解析実験 (分割・ルビ振り・カナ漢字変換) について報告する。

(4) CYK 法構文解析の一検討: quick parsing について

鈴木克志, 太細 孝 (三菱電機)

〔概要〕 分割統治法に基づく文脈自由パーザを提案し、文法の性質利用による解の早期検出法と自然言語への応用を考察する。

(5) BUP 系解析システム上でのトップダウンな情報の制御について

奥村 学, 田村直良, 徳永健伸, 田中穂積 (東工大・工)

〔概要〕 BUP 上に上から下へ情報を流す機構を開発した。これにより解析中に上下双方向に情報を流すことが可能になる。

(6) MU プロジェクトにおける英日翻訳システムの構成と翻訳結果

辻井潤一 (京大・工), 久米雅子 (JCS), 長尾 真 (京大・工)

〔概要〕 英日翻訳システム MU-EJ の基本構成, 文法規則, 翻訳結果とその評価および問題点を整理して述べる。

(7) コンサルテーションシステムにおける対話の階層構造モデルについて

佐川雄二, 杉江 昇 (名大・工), 杉原厚吉 (東大・工)

〔概要〕 相談システムにおいて、対話に関する行動の流れを決定する対話モデル

について、その概要を述べる。

(8) 対話型システムにおける文脈情報を利用した文章生成について

榎本英治, 垣内隆志, 上原邦明, 豊田順一 (阪大・産研)

〔概要〕 ユーザモデルを用いた対話管理と、焦点の移動を考慮した話題管理を同時に行う文章生成手法について述べる。

◆ 第56回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 田中英彦, 幹事: 喜連川優, 長谷川隆三)

日時 昭和62年1月27日(火) 午後1時半~5時

会場 機械振興会館 6階 67号室 (所在地は前記参照)

議題 (1) 常微分方程式求解の並列処理

笠原博徳, 藤井稔久, 本多弘樹, 成田誠之助 (早大・理工)

〔概要〕 スタティックなマルチプロセッサ・スケジューリングを用いた常微分方程式求解の並列処理手法を提案する。

(2) データフローコンピュータにおけるデッドロックの発生

曾和将容 (群大・工)

〔概要〕 非決定的なコンピュータではデッドロックが起る。この原因をデータフローコンピュータを例にして、明らかにする。

(3) PIEの構造メモリ試作ハードウェアにおけるソフトウェアについて

猪股宏文, 平田圭二, 田中英彦 (東大・工)

〔概要〕 現在, PIEの構造メモリ試作ハードウェアの開発を進めている。そのソフトウェア全般について発表する。

(4) ストリーム並列言語を実行する並列推論マシンでの共有変数の取扱い

垂井俊明, 丸山 勉, 田中英彦 (東大・工)

〔概要〕 並列推論マシン上でストリーム並列言語を実行する際の共有変数の取扱いについて、シミュレーション結果を述べる。

(5) 再構成可能な結合網を用いた大規模システムのための高速制御方式

Issam A. HAMID, 白鳥則郎, 野口正一 (東北大・通研)

〔概要〕 大規模マルチプロセッサシステムの結合網としてベンズネットワークを効果的に用いるための制御方式について検討する。

※ IEEE Computer Society Tokyo Chapter 協賛

◇ 計算機アーキテクチャ研究会

第57回研究会を下記のとおり開催いたします。今回は、一般テーマのほかに、マイクロ・メイン・フレーム、ワークステーション、新しいコンピュータ・ファシリティ等を対象といたく考えております。なお、当日は「メイン・フレームの将来」と題したパネル討論を予定していますので、奮ってご参加ください。発表ご希望の方は1月5日(月)までに事務局研究会係までお申込みください。

日時 1987年3月13日(金) 午後

場所 機械振興会館 地下3階 2号室

## 論文賞候補の論文推薦のお願い

昭和 61 年度論文賞の候補論文を推薦される会員は、下記事項を参考のうえ、論文の題名、著者名、掲載巻号、論文の専門分野、推薦理由および推薦者住所氏名を官製はがきに記入のうえ、本会論文賞係宛お送りください。

### 論文選定条件

#### 1. 選定範囲および推薦数

昭和 60 年 10 月から 61 年 9 月までの間に「情報処理学会論文誌」(Vol. 26, No. 6～Vol. 27, No. 9 および「Journal of Information Processing」(Vol. 8, No. 3～Vol. 9, No. 2) に発表された論文の中から 1 編。

#### 2. 推薦資格

本会正会員に限ります。

#### 3. 締切日

昭和 62 年 1 月 31 日 (土)

### 表彰規程 (抜粋)

#### 第 3 章 論 文 賞

**第 9 条** 論文賞は、本会の機関誌に発表された論文のうちとくに優秀なものを選び、その著者に贈呈する。

**第 10 条** 表彰する論文は、原則として毎年 4 編とするが、編数は事情により変更することができる。

**第 11 条** 選定の対象となる論文は、表彰の時期の前前年の 10 月から前年の 9 月までの間に発表されたものであることを要する。

**第 12 条** 表彰する論文が共著の場合は、共著者全員を表彰する。

**第 13 条** 論文賞は、同一著者に重ねて授賞しても差支えない。

**第 14 条** 論文賞は、賞状、賞牌および賞金とする。賞金は、論文 1 編につき 30,000 円とする。

## 第 34 回 全国大会 (昭和 62 年前期) 論文集予約について

標記全国大会は既報のとおり、来る 3 月 18 日(水)～20 日(金)に日本大学・理工学部・習志野校舎(千葉県船橋市習志野台)で行われます。このほど締切りました論文の申込みは 1,100 件を越え、盛会が予想されます。

つきましては、論文集が非常に分厚くなりますので、購入方法は従来にまして予約制を徹底いたします。下記要領で早目にお申込みくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

### 記

○ 本号綴込みの「昭和 62 年前期第 34 回全国大会論文集予約申込書」により、**62 年 2 月 23 日(月)**までに、事務局へ直接に予約申込みください。

○ 予約価 5,000 円(定価 6,000 円)、送料 950 円

注) プログラムは、来年 2 月号 (Vol. 28, No. 2) に掲載いたします。登壇発表者はとくにご注意ください。



## IEEE Computer Society との affiliate relationship について

このたび情報処理学会と IEEE-CS の間で、affiliate relationship の agreement が結ばれ、Sister Society となりました。本会会員は会費（現在年間 39 ドル）を支払うことにより、IEEE-CS の affiliate member（准会員）となることができます。入会申込書は学会事務局にありますから、切手 70 円を同封のうえ、請求ください。

- ① 准会員となった場合、下記のようなメリットがあります。
  - IEEE-CS の COMPUTER Magazine（月刊）が配布される。
  - IEEE-CS の会議に会員としての参加費で参加できる。
  - IEEE-CS Magazine や Transation などの刊行物は会員価格で購入できる。
  - IEEE-CS の Technical Committee などに参加でき、Newsletter などを受けとれる。
  - ただし下記の特典、資格はありません。
    - IEEE Spectrum Magazine の入手、○ IEEE の役員の投票権、IEEE 役員になる資格
- ② IEEE-CS の准会員にならない場合でも本会会員は、IEEE-CS 発行の Magazine を Sister Society 割引価格（一般価格より安く、正会員価格よりは高い）で購入できます。
- ③ IEEE-CS の会員種別と会費は次の通りです。

affiliate m.（准会員）	US \$ 39
member（正会員）	US \$ 68（日本の場合）、82（米国）

## 第 35 回 全国大会（昭和 62 年後期）の開催について

昭和 62 年秋の第 35 回全国大会は下記により開催されます。一般講演申込みの締切りは 5 月上旬の予定ですので、3 月号本欄にご留意ください。

### 記

日 時 昭和 62 年 9 月 28 日(月)、29 日(火)、30 日(水)  
会 場 北海道大学・工学部・教養部（札幌市北区 13 条西 8 丁目）

## COMPSAC '87 日本開催と論文募集

標記国際会議を IEEE Computer Society と来年 10 月に東京で共催いたします。論文募集要綱がきまりました。早目にご準備ください。

記

正式名称 The 11th Annual International Computer Software & Applications Conference

日 時 1987 年 10 月 5 日(月), 6 日(火): Tutorials

7 日(水)~9 日(金): Conference

会 場 東京都港区 高輪プリンスホテル

論文募集要綱 (Call for Papers を必要な方は, 70 円切手を同封のうえ請求のこと.)

- 締 切 1987 年 2 月 1 日
- 論文体裁 full paper 5 部, 1000~5000 語 (paper にアブストラクト 150 語を含む)
- 主なテーマ Software Puality and Productivity  
Software Engineering Management  
Development and Maintenance Environment  
Emerging Technologies  
Expert/Knowledge Based Systems  
Applications of Software Engineering Technologies

## 国際会議の論文募集について

下記国際会議がそれぞれ論文を募集中です。奮ってご応募ください。

会 議 名	期 日 ・ 場 所	発表申込締切
IFIP Workshop on CAD Engines	1987年6月8日(日)~9日(火) 機械振興会館研修1号室(B3)	1987年1月14日 (11月号本欄参照)
第13回 IFIP Conference on System Modelling and Optimization 注)	1987年8月31日(月)~9月4日(金) 中央大学・春日校舎	1986年12月31日 (11月号本欄参照)

注) 論文応募のアブストラクトはダブルスペースでなくシングルスペースに変更いたします。

## 「1987 情報学」シンポジウム開催について

**日 時** 1987年1月13日(火)～14日(水) 9:30～17:00  
**場 所** 日本学術会議講堂(地下鉄千代田線乃木坂駅下車)  
**参加費** 一般 10,000円 学生 1,500円 申込書は前号本欄にあります。  
(論文集のみ 3,000円, 送料 300円)  
**申込締切** 昭和61年12月22日(月)(定員250名になり次第, 締切ります)

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

#### 第1日 1月13日(火)

- 基調講演(9:30～10:10) 座長 大杉 治郎(生産開発研)  
●情報学について 坂井 利之(京大)
- セッション1 統合化(10:25～11:25) 座長 富永 英義(早大)  
●情報システムの統合化データ・ビューの実現法 渡辺 豊英, 桶谷猪久夫(京大)  
●マルチメディア型地理情報システム 久保 幸夫(お茶大)  
●ソフトウェア・バスの概念とその応用 畠山 正行(都航空高専)  
●情報システムの管理とそのガイドシステム 北川重太郎(甲南大)
- 特別講演1 生命と情報1(11:40～12:20) 座長 藤原 鎮男(神奈川大)  
生命と情報 清水 博(東大)
- 特別講演2 生命と情報2(13:20～14:00) 座長 倉科 周介(都臨床研)  
●遺伝情報データベースの構築と統合的利用 金久 實(京大)
- 特別講演3 生命と情報3(14:25～15:05) 座長 小谷 正雄(東理大)  
●遺伝情報と生物情報の接点 堀 寛(名大)
- セッション2 知識(15:20～16:35) 座長 藤原 譲(筑波大)  
●SAGEによる知識生成の定式化 倉科 周介, 灘岡 陽子, 神沼 二真(都臨床研)  
●符号化特定性原理に基づく再生・再認モデル 宮下 敏昭(日電)  
●引用分析における知識表現 大塚 敏夫, 平松 啓二(電機大)  
●歴史・文学への計算機の発見的利用について 星野 聡, 柴山 守(京大)  
●知識情報処理システムにおける論理機能の諸様相 北川 敏男(富士通・国際研)

#### 第2日 1月14日(水)

- 招待講演1(9:30～10:10) 座長 小林 和雄(JICST)  
●Data Activities in West Germany U. Wattenberg(GID-GMD)
- セッション3 データベースの生成と利用1(10:25～11:10) 座長 根岸 正治(東大)  
●現行日本の統計調査結果の公開状況 大久保恒治(一橋大), 周防 節雄(関西大)  
●戦後日本の大規模統計調査に関する書誌情報データベース 周防 節雄(関西大)  
●歴史学系研究データ生成とその処理システムの一例と課題 八重樫純樹(国立歴史民俗博)
- セッション4 検索・索引(11:25～12:10) 座長 中井 浩(常磐大)

- 構造設計用データベースを用いた結晶構造マッチング探索試行  
大内 孝司, 村上 茂三 (住 電)
- 材料科学の文献データベースに対する図表データ索引の試行  
黒澤 慎治, 菊地 俊一, 阿部 篤史 (JICST)
- 視覚対話言語とその応用  
横井 尚子 (日 電)
- 招待講演 2 (13:10~13:50) 座長 有川 節夫 (九 大)
- 大量文献情報の効率的蓄積と検索  
松尾 文碩 (九 大)
- セッション 5 データベースの生成と利用 2 (14:00~15:00)  
座長 木澤 誠 (情報大)
- 植物培養細胞文献情報システム IRIS の構築  
館野 義男, 菅原 秀明, 鷗川 義弘 (理 研)
- 原子力科学 (京大炉関係) 文献データベースの構築  
武内 孝之 (京 大)
- 歴史天候データベース——その目的とデータ蓄積上の問題  
吉村 稔 (山梨大)
- 近世・近代史料所在情報の収集整備に向けて 安澤 秀一, 山田 哲好 (国立史料館)
- セッション 6 用語 (15:15~16:15) 座長 大塚 明郎 (応用光学研)
- 地理学研究誌におけるキーワード選定の問題点  
——地理学文献情報データベース作成のための基礎的検討——  
戸祭由美夫 (奈良女子大)
- 専門用語の自動収集について  
田中 康仁 (姫路短大)
- 核融合分野用語集の形成手法  
小西 修, 宮原 昭 (名 大)
- 日本語における学術用語の特色と問題点  
花田 岳美 (JICST), 佐々木 肇 (日本医科大)
- 総 括 (16:30~16:50) 米田 幸夫 (東海大)

## 欧文誌の原稿募集について

本学会欧文誌「Journal of Information Processing (JIP)」に積極的に論文をお寄せください。投稿規定の詳細は JIP 各巻第 1 号に掲載されていますからご参照ください。JIP では (1) 掲載論文について、英文を母国語民に手入れしてもらうことができます。また (2) 論文の著者は掲載誌 10 部を、望む海外の寄贈先に送ることができます。なお (3) 目下査読期間短縮のため、種々の手を打っています。なお、以下にその要約を示します。

### 欧文誌の性格、掲載論文種別

JIP は英文による学術雑誌である。掲載論文等は (1) 原著論文、(2) ショートノート、(3) 学会出版物のアブストラクト、(4) その他、とする。(1) と (2) を募集する。

### A. 投稿方法

- (1) 原稿は 4 部提出する。原著論文は刷り上がり 8 ページ以内を一応の目安とする。ショートノートは 2 ページ以内に限る。
- (2) 図面は原則として原本を提出する。
- (3) 著者紹介 (英文) および写真を添付すること。
- (4) アブストラクトは 3 種必要である。すなわち、
  - a 論文冒頭に掲げる英文アブストラクト (原著論文では 200 語以内、ショートノートでは 50 語以内)。
  - b 前項の和訳。「情報処理」に掲載される。
  - c 刷り上がり 1 ページ (表題、著者名などを含めて) の和文要約。図、表等を含んでよい。和文論文誌に掲載される。ただしショートノートにあっては刷り上がり 0.5 ページとする。それだけを見れば論文の性格はわかり、読者に読んでみたいという気を起こさせるようなものであることが望ましい。なお著者が日本人でない場合には (b) を省略し、(c) は英語版を提出することにしてもよい。その場合は編集委員会で必要な翻訳をおこなう。
- (5) 査読割当ての便宜のため、所定の質問表に回答を記入して添付すること。
- (6) 著者の所属、郵便送付先を明示した書状を添えること。日本語でも可。

### B. 原稿の形式

- (1) A判用紙 (21 cm×30 cm) の片面にダブルスペースでタイプ打ちを原則とする。用紙寸法は 8.5"×11" (レターサイズ) でもよい。たとえば 1 行 65 文字、1 ページ 28 行とし、上下 3 cm (強) の余白を残し、パラグラフの先頭を 5 字分あける。ただし印字品質が十分よくて読み違いの恐れがなく、査読者が書き込みをするためのスペースが十分あり、かつ分量の計算が容易にできるようなものであれば、これ以外の形式 (たとえばレーザービームプリンタの出力) であっても差し支えない。刷り上がり 1 ページは、通常のテキストでは 1,000 語程度であるが、図等があればその分のスペースを考慮すること。
- (2) 前節 A の (4) に記載のとおりのアブストラクトを含めること。
- (3) 表題、著者名、および所属は別紙とする。共著の場合には、著者と所属の間の対応を明示すること。
- (4) 引用文献リストは「JIP」形式による。くわしくは英文投稿規定または最近の JIP を参照のこと。

(5) 図のキャプションをまとめて別紙に示すこと。

(6) その他英文原稿作成の常識にしたがうこと。

### C. 図面の形式

(1) 図は学会ではトレースができないので、鮮明で汚れがなく、コントラストのよいものを提出する。

(2) できればA4判の用紙等を用いる。レターサイズでもよい。

(3) グラフは座標軸のみとするか、主だった格子のみ示すこと。

(4) レタリングが小さくなりすぎないように注意する。

(5) 写真は光沢焼きとし、十分なコントラストと濃淡を持つ常識的な寸法のものとする  
こと。

(6) 図面原本には裏面に鉛筆で番号を振り、著者名を書いておくこと。

### D. 査読

投稿原稿は査読される。採否の最終的判断は編集委員会でおこなうが、内容についての最終的責任は著者にある。

### E. その他

(1) 投稿原稿は返却しない。

(2) 掲載論文等の著作権は学会に帰属する。

(3) 著者または著者の所属先に、別刷100部を下記価格で購入していただく。

Pages	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Prices	¥5,000	10,000	15,000	20,000	25,000	30,000	35,000	40,000	55,000	70,000

## 論文誌へのカラー頁導入についてのお知らせ

「カラー写真を含む論文の投稿を可能にしてほしい」との要望を多くの会員よりいただいておりますが、論文誌編集委員会で検討を進めた結果、1カラー頁当たり、4通常頁分の別刷代をお支払いいただくことにより実現可能である、との結論に達しました。ただちに、この条件のもとに実行に移すことにいたしますので、会員の皆さまの活発な投稿をお願いいたします。

## 本会協賛等の行事案内\*

### 第7回全日本マイクロマウス大会

昭和61年12月6日(土), 7日(日), 13日(土), 14日(日) 東京・科学技術館

### 第1回「大学と科学」公開シンポジウム

#### ○生命科学の新しい展開を求めて

昭和62年1月21日(水)~23日(金) 東京・有楽町朝日ホール

#### ○経済政策における政策決定と情報処理

1月22日(木)~23日(金) 東京・東商ホール

#### ○新しい材料

1月28日(水)~30日(金) 東京・経団連ホール

#### ○現代社会における法的問題処理

1月30日(金)~31日(土) 東京・東商ホール

#### ○日本語の特性と機械翻訳

2月2日(月)~3日(火) 東京・有楽町朝日ホール

### セミナー「CAD データ交換の国際規格をめざして」

昭和62年2月10日(火) 東京・機械振興会館

### '87スイッチング電源システムシンポジウム

昭和62年3月2日(月)~5日(木) 東京・テオーシー

### 第9回電子計算機利用シンポジウム

昭和62年3月10日(火)~11日(水) 東京・建築会館ホール

### 第2回産業における画像センシング技術シンポジウム

昭和62年7月2日(木)~3日(金) 東京・コクヨホール

### Biomagnetism '87 (第6回生体磁気国際会議)

1987年8月27日(木)~30日(日) 東京・サンケイ会館

### ICM 90 (国際数学会議)

1990年8月21日(火)~29日(水) 国立京都国際会議場

\*詳細は本号会議案内欄参照

## 支 部 だ よ り

### 関 西 支 部

#### 昭和 61 年度第 2 回ソフトウェア研究会

——スーパーコンピュータ向きプログラミング技法——

- 期 日 昭和 62 年 1 月 20 日 (火) 11:00~17:00  
会 場 (財)関西情報センター会議室 (大阪市北区中之島 5-3-51)  
参 加 費 ソフトウェア研究会登録会員: 無料, 支部一般会員: 600 円  
(当日は領収書を発行しませんので, 必要な方はその旨申込はがきに記入のこと)  
申込方法 はがきに「ソフトウェア研究会参加申込み」と明記し, ①所属機関・役職名, ②氏名, ③連絡先住所・電話番号, ④ソフトウェア研究会のメンバーの区別を記入のうえお申込みください。なお, 定員 50 名に達し次第, 申込みを締切り, その後の申込者にはお断りの連絡をいたします。  
申 込 先 〒530 大阪市北区中之島 5-3-51 大阪国際貿易センタービル 4 階 (財)関西情報センター気付 情報処理学会関西支部 (担当 大矢) Tel. 06 (448) 6630

#### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

- VP の特徴と有効利用のプログラミング技術 高嶋 秀夫 (富士通)
- S-810 の特徴を生かしたプログラミング 小国 力 (日立)
- SX システムの特徴と高速化技法 片山 博 (日電)
- VP 200 による液体および溶液の計算機シミュレーション 中西浩一郎 (京大)
- 複雑な力学的挙動の有限要素解析について 橋 英三郎 (阪大)
- 数学ライブラリとスーパーコンピュータ 二宮 市三 (中部大・名大名誉教授)

## 中 国 四 国 支 部

### 講 演 会

- 期 日 昭和 61 年 12 月 17 日 (水) 13:30~15:00  
会 場 広島大学工学部 C 1 棟 111 号室 (院生講義室) (東広島市西条町下見)  
演 題 電気機器の特性解析手法の動向 小貫 天 (早大)

#### 研究会ならびに見学会の開催について

下記のとおり研究会/見学会を開催いたしますので, 奮ってご参加ください。

- 期 日 昭和 62 年 1 月 13 日 (火) 13:00~15:00  
会 場 四国電力(株)電子技術研究所 (松山市湊町 6-1-2)  
参 加 費 無 料 (スケジュールおよび申込方法は 10 月号本欄参照)  
問 合 せ 先 〒790 松山市文京町 3 愛媛大学工学部電子工学科 村上研二  
Tel. 0899 (24) 7111



## 専門講習会

### —コンピュータによる画像生成処理技術—

期 日 昭和 62 年 1 月 23 日 (金) 9:30~17:30  
会 場 NTT ニューメディアプラザ (広島市中区袋町 6-11)  
参 加 費 会員 8,000 円, 学生 4,000 円, 非会員 10,000 円 (テキスト代を含む)  
共催学協会会員は会員資格があります。プログラムおよび申込方法は前号本欄  
参照。  
問 合 せ 先 〒724 東広島市西条町下見 広島大学工学部第二類 (電気系) 内  
情報処理学会中国四国支部 担当 中村 Tel. 0824 (22) 7111 (内 3443)

### 「知識情報処理と産業応用」セミナー

期 日 昭和 62 年 2 月 12 日 (木)~13 日 (金)  
会 場 広島ガーデンパレス (広島市東区光町 1-15)  
参 加 費 会員 20,000 円, 学生 5,000 円, 非会員 25,000 円  
定 員 100 名 (定員に達し次第締切ります)  
申 込 締 切 昭和 62 年 1 月 21 日 (水)  
申 込 方 法 参加申込書に必要事項を記入のうえ, 参加費 (現金書留か銀行振込) を添えて  
申込みください。  
広島銀行 本店 普通 1434161 電気学会中国支部  
中国銀行広島支店 普通 1163505 電気学会中国支部  
申 込 先 〒730 広島市中区小町 4-33 中国電力(株)工務部内  
電気学会中国支部事務局 Tel. 082(241)0211(内 3416)

注) 当会場には 40 台までの駐車場がありますが, 満車の場合もあるのでご注意ください。

### ~~~~~プログラム~~~~~

#### 第 1 日 2 月 12 日 (木)

知識情報処理の展望 (9:30~10:30)	福村 晃夫 (名 大)
知識ベースシステム (10:50~12:20)	田中 稔 (広島大)
高機能ワークステーション (13:30~15:00)	南崎 由任 (富士ゼロックス)
あいまいな知識をいかに扱うか (15:20~16:50)	寺野 寿郎 (法政大)

#### 第 2 日 2 月 13 日 (金)

OA と知識情報処理 (9:00~10:30)	山本 昌弘 (日 電)
エキスパート・システムと産業応用 (10:50~12:20)	井原 廣一 (日 立)
故障診断エキスパート・システム (13:20~14:20)	小野 俊彦 (東 芝)
エキスパート・システムの高炉操業への応用 (14:30~15:30)	岩本 宗孝 (日本鋼管)
電力系統制御のエキスパート・システム (15:50~16:50)	坂口 敏明 (三 菱)

## 論文誌および欧文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」(月刊) および欧文誌 “Journal of Information Processing” (略称 JIP・季刊) は下記のとおり、有料頒布となっております。

新規に購読を希望される会員は下記の申込書(コピーにて可)にて、お申し込みください。郵便振替口座番号、取扱銀行、送金先等は前号 1311 ページにあります。

年間購読料	会 員	非 会 員
論 文 誌	4,500 円	7,800 円
欧 文 誌	3,000 円	6,000 円 (海外 7,000 円)

昭和 年 月 日

### 論文誌・欧文誌購読申込書

下記により購読を申し込みます。(該当欄を○で囲む) 会員 No. \_\_\_\_\_

1. 氏 名 \_\_\_\_\_ 会員 (正, 学生, 賛助)・非会員

連絡先 (〒 \_\_\_\_\_)

Tel. \_\_\_\_\_

送本先 (〒 \_\_\_\_\_)

注) 会員には学会誌の送付先に送本いたしますので、送本先の記入は不要です。

2. 購読希望誌 (申込月の翌月以降の発行誌から送本します。送本希望欄は特に必要な場合のみ記入)

a. 情報処理学会論文誌 ( \_\_\_\_\_ 巻 \_\_\_\_\_ 号から送本希望)

b. 欧文誌 “Journal of Information Processing” ( \_\_\_\_\_ 巻 \_\_\_\_\_ 号から送本希望)

3. 送金の方法

〒 \_\_\_\_\_ 也をつぎによって送金いたします。(送金月日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

a. 現金書留    b. 郵便振替    c. 銀行振込 ( \_\_\_\_\_ 銀行宛)

4. その他 (学会事務局への連絡事項)

昭和 年 月 日

### 研究会発表申込書

太線枠内のみご記入ください。

研究会名	研究会										
発表希望の 研究会開催日	昭和 年 月 日 ( )										
タイトル											
発表者名											
概要 (50 字以内)											
原稿用紙送付先住所	〒		Tel. — (内線 )								
氏名											

昭和 年 月 日受付

研究会名	資料 No.	開催日	幹事送付済み	その他
------	--------	-----	--------	-----

		昭和 年 月 日		
--	--	----------	--	--